

令和4年度第1回 協力病院連絡会議(報告)

日時:令和4年7月15日(金)
16:00-17:30 Zoom 会議

出席者:森医学教育部門長
増田臨床研修部門長
杉浦臨床研修部門員

参加者:教育協力病院および臨床研修関連の33病院

外部委員:長野保健医療大学 副学長 田中榮司先生、信州 SP 会 白澤和子代表



森医学教育部門長が進行を担当した。

1. 臨床実習ガイドラインについて・・・資料No.1

森医学教育部門長より資料に基づき、「新型コロナウイルスの感染者が確認された際の対応として、以前は全ての実習を止め、状況確認をしていたところではあるが、現行のガイドラインでは、感染状況や重症化率を踏まえて、感染者、濃厚接触者のグループを止めるという対応で実習を進めている。各実習先での取扱いで異なる場合は実習先のルールを優先していただくこととしている。」との説明があった。

参加者より、学生の実習における濃厚接触者と認める状況について質問があり、森医学教育部門長より、「会食、長時間の車での移動、マスクなしでの接触等が該当するかと思うが、広い範囲で認定するようにしている。現状、特にラインを定めているわけではない。」との回答があった。

2. 令和4年度選択臨床実習学生による感想・・・資料No.2

森医学教育部門長より、「選択臨床実習期間の学生の感想まとめたのでご確認いただきたい。今年は比較的多くの学生が回答してくれた。やってみたいこと、勉強したいことについて、可能な範囲で取り入れていただけると有難い。」との説明があった。

3. クリニカルクラークシップⅡにおける担当症例数について・・・資料No.3

森医学教育部門長より資料に基づき、「例年に比べ経験した症例数が少なめの印象である。先日行われた OSCE を見ても、経験不足を感じるがあった。コロナ禍で難しいので仕方がないところではあるが、学生に経験を積ませるよう信大病院でも努力をするので、教育協力病院の方でもお願いしたい。」との説明があった。

4. 令和4年度「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習」コースについて・・・資料No.4

森医学教育部門長より、「各病院の受入可能枠の範囲内で設定したので確認いただきたい。」との説明があった。

本会議に引き続き卒後臨床研修管理委員会を開催し、議事後、パネルディスカッションが開催された。パネルディスカッションでは、丸の内病院の清水先生の講演後に、学生代表5年生の曾根さんより「学生に対しても経験させてもらったり、サポート体制も充実した実習をさせていただいたり、とても有難いと感じている。」とコメントがあった。

また、丸子中央病院の橋倉先生の講演後に、学生代表5年生の渡辺さんより「シミュレーション教育を今までの実習の中で経験したが、印象深く忘れられない実習だった。やってみること、聞くだけでは全然違う。今後も実習は続いていくが、現場で活かせる実習にしていきたい。」とのコメントがあった。

パネルディスカッションののち、外部委員としてご参加の特任教授の田中先生より「大学を離れ、外から信州大学の学生の実習を見る視点を持つようになった。本日の話を聞いて以前に比べ、教える側が成長しているように感じている。さらにこれからの長野県の医療を充実させていただきたい。」と講評をいただいた。また、信州SP会代表の白澤様より、「7月3日実施の臨床実習終了後OSCEに参加させていただいた。今年の学生は優秀な印象を受けた。」と講評をいただいた。

以上をもち、閉会した。

以上